

# I 運宮概要

## 1. 設立の目的と事業方針

地域の保健衛生の向上と環境の保全を推進するための科学的・技術的中核機関として、健康福祉センターをはじめ行政機関や他の研究機関、医療機関との緊密な連携のもと、地域における課題の発掘とその解決に向けた取組みを積極的に進める。

<福井県行政組織規則第 85 条（業務）>

衛生環境研究センターは、次に掲げる事務をつかさどる。

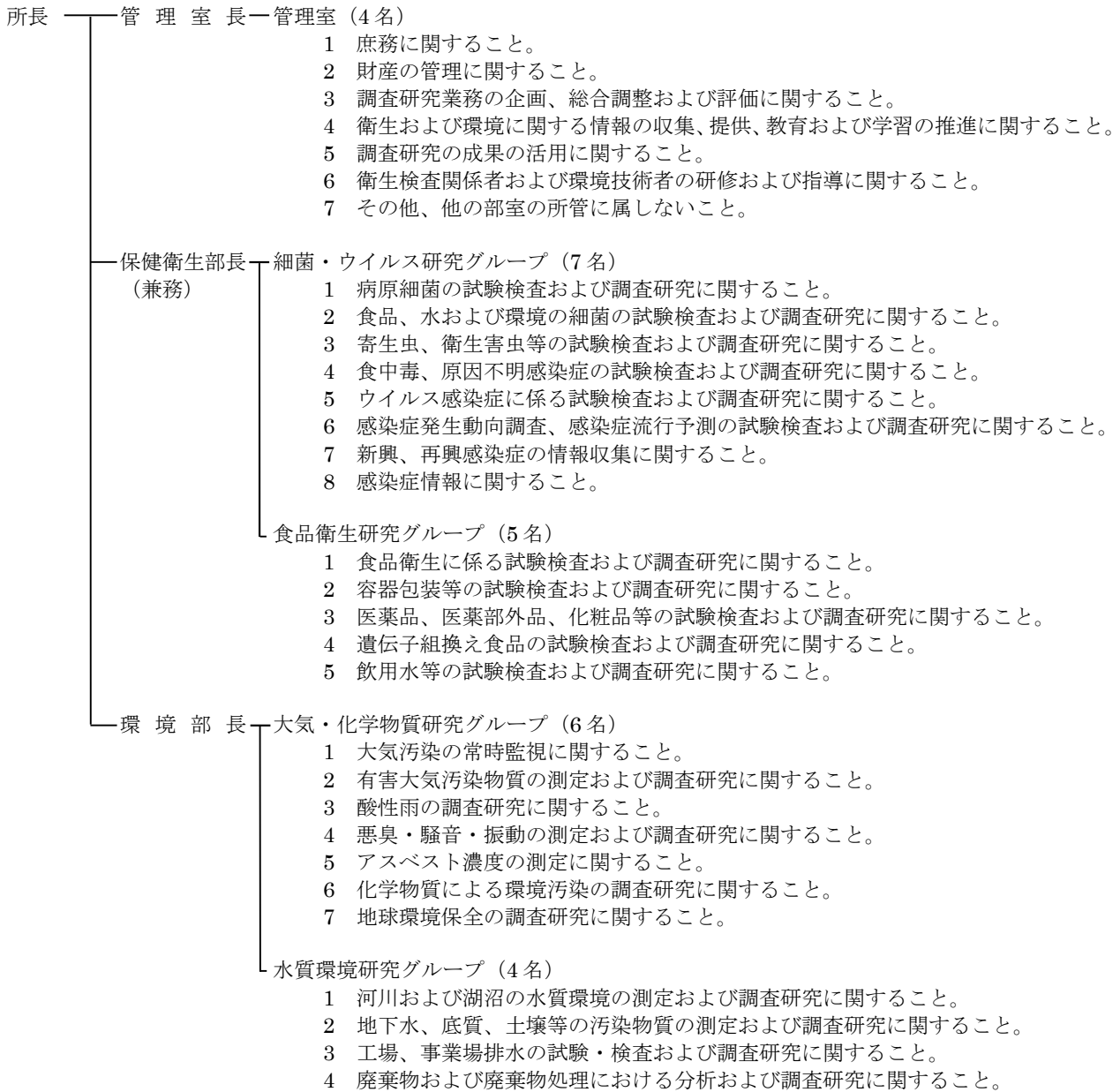
- 一 衛生および環境に係る調査研究に関すること。
- 二 衛生および環境に係る試験、検査および測定に関すること。
- 三 衛生および環境に係る研修、指導および学習に関すること。
- 四 衛生および環境に係る情報の収集、解析および提供に関すること。

## 2. 沿革

昭和	24年	11月	福井市志比口町に「福井県衛生研究所」を設置。庶務、細菌病理検査、理化学試験の3係で業務開始
	39年	7月	庶務、病理細菌、理化学、公害衛生の4課に組織変更
	41年	8月	福井市町屋町に新築、移転
	45年	10月	衛生研究所内に「福井県公害センター」を設置。調整指導、調査研究の2課で業務開始
	47年	11月	福井市原目町に新築、移転
	48年	4月	「衛生研究所」を総務、微生物、理化学、放射能、環境医学の5課に組織変更 「公害センター」を調整指導、大気、水質の3課に組織変更
	55年	4月	「公害センター」を総務、大気、水質、環境監視の4課に組織変更
平成	3年	5月	「公害センター」を「環境センター」に名称変更し、総務、大気、水質、生活環境、環境情報の5課に組織変更
	7年	5月	「衛生研究所」の放射能課が「原子力環境監視センター」として独立 「衛生研究所」を管理室、保健情報部（病原細菌研究、ウイルス研究、病態情報研究の3班）、生活科学部（食品衛生研究、環境保健研究の2班）の1室2部に組織変更 「環境センター」を「環境科学センター」に名称変更し、管理室、大気科学部（大気環境研究、環境情報研究の2班）、水質科学部（水質環境研究、生活環境研究、環境地質研究の3班）の1室2部に組織変更
	9年	4月	班制をグループ制に変更
	14年	4月	「衛生研究所」と「環境科学センター」を統合し、「衛生環境研究センター」を設置。管理室（総務管理、企画情報の2グループ）、保健科学部（細菌・ウイルス研究、病態研究の2グループ）、生活科学部（食品衛生研究、環境衛生研究の2グループ）、環境科学部（環境保健研究、化学物質研究の2グループ）、環境保全部（大気環境研究、水質環境研究、生活環境研究の3グループ）の1室4部に組織変更
	15年	6月	保健科学部を細菌研究、ウイルス・生化学研究の2グループに組織変更
	18年	4月	管理室、健康長寿推進室、保健衛生部（細菌研究、ウイルス・生化学研究、食品衛生研究、環境衛生研究の4グループ）、環境部（環境保健研究、化学物質研究、大気環境研究、水質環境研究、生活環境研究の5グループ）の2室2部に組織変更
	20年	4月	保健衛生部を細菌研究、ウイルス研究、食品衛生研究の3グループ、環境部を化学物質研究、大気環境研究、水質・廃棄物研究、湖沼環境研究の4グループに組織変更
	22年	4月	保健衛生部を細菌・ウイルス研究、食品・廃棄物研究の2グループ、環境部を大気・化学物質研究、水質環境研究の2グループに組織変更
	24年	4月	管理室、保健衛生部（細菌・ウイルス研究、食品衛生研究の2グループ）、環境部（大気・化学物質研究、水質環境研究の2グループ）の1室2部に組織変更

### 3. 組織および事務分掌

(令和3年3月31日現在)



## 4. 職員の構成

(令和3年3月31日現在)

区分	事務	獣医師	薬剤師	検査技師	化学・高分子工学	電気	水産	計
所長 (保健衛生部長兼務)			1					1
部長					1			1
室長	1							1
管理室	2				1	1		4
保健衛生部	細菌・ウイルス研究グループ		1	4	2			7
	食品衛生研究グループ			3	2			5
環境部	大気・化学物質研究グループ	1			4	1		6
	水質環境研究グループ			1	2		1	4
計	4	1	9	2	10	2	1	29

備考：産休、育休中、県外派遣中の職員は含まず、代替職員、臨時的任用職員は含む。

## 5. 施設の概要

- ・敷地面積 11,195.03 m<sup>2</sup>
- ・建物延べ面積 5,719.11 m<sup>2</sup>

本館（鉄筋コンクリート4階建）	3,718.46 m <sup>2</sup>	（昭和47年10月14日 建設）
附属棟（鉄筋コンクリート平屋建）	472.20 m <sup>2</sup>	（同上）
環境中央監視局（鉄筋コンクリート2階建）	609.34 m <sup>2</sup>	（昭和49年8月23日 建設）
化学物質対策調査研究施設（鉄骨2階建）	407.71 m <sup>2</sup>	（平成13年6月15日 建設）
その他（排水処理棟ほか）	349.80 m <sup>2</sup>	（昭和51年2月10日 建設）

## 6. 研究課題評価・機関評価

### 6. 1 評価委員会

- (1) 開催方法 書面開催  
(2) 開催日 資料送付：令和2年8月25日（火）、評価期間：資料送付後～令和2年9月28日（月）  
(3) 評価者 衛生環境研究センター研究課題評価委員会 委員7名

委員名	役職
廣石 伸互◎	福井県立大学名誉教授
岩崎 博道	福井大学医学部附属病院感染制御部教授
奥村 充司	福井工業高等専門学校環境都市工学科准教授
貴志 洋一	福井県医師会理事
鳴瀬 碧	仁愛大学人間生活学部健康栄養学科教授
三浦 麻	福井大学学術研究院教育・人文社会系部門准教授
四方 啓裕	福井県健康福祉センター所長・医幹会会長

◎：委員長 任期：令和2年4月1日～令和4年3月31日

- (4) 評価対象 研究課題評価（事前評価：2題、中間評価：6題、事後評価：2題の計10題）

#### ① 事前評価課題

- ・新型コロナウイルス感染症疑い検体における他の呼吸器ウイルス検出状況について
- ・微生物を用いた試験による湖沼環境の影響評価に関する研究

#### ② 中間評価課題

- ・福井県におけるペットおよび河川水等の薬剤耐性菌に関する研究
- ・福井県における腸管出血性大腸菌分離株のStxサブタイピング解析
- ・A群ロタウイルスの流行状況の解明
- ・へしこ中のヒスタミン抑制法の開発
- ・福井県における大気中の水銀濃度の詳細な実態調査について
- ・福井県における越境大気汚染の解明に関する研究－PM<sub>2.5</sub>の発生源に関する調査－

#### ③ 事後評価課題

- ・化学物質対策調査研究事業  
－福井県におけるリン酸エステル系難燃剤の実態把握と処理技術に関する研究－
- ・福井県におけるアデノウイルスの流行状況に関する研究

### 6. 2 評価基準

- ・研究課題評価

事前評価	中間評価	事後評価・追跡評価
A：優れている	A：優れている	A：優れている
B：良い	B：良い	B：良い
C：改善の必要がある	C：改善の必要がある	C：当初の目的未達成の部分がある
D：不適切である	D：中止が妥当である	D：不適切である

### 6. 3 評価結果

- (1) 結果概要

1つの研究課題について委員1名からC評価を受けたが、その他はいずれもAまたはB評価であった。

- (2) 詳細結果

当センターのホームページ（下記アドレス）に掲載

(<http://www.erc.pref.fukui.jp/center/news/2020/hyouka/R2hyoukaresult.html>)

## 7. 倫理審査

### 7. 1 倫理審査委員会

・審査者 衛生環境研究センター・健康福祉センター倫理審査委員会 委員7名

委員名	役職
定 清直◎	福井大学医学部医学科病態医学講座 ゲノム科学・微生物病態医学講座教授
前波 裕司○	福井弁護士会
江守 直美	福井県看護協会会長
笠井 恭子	福井県立大学看護福祉学部准教授
貴志 洋一	福井県医師会理事
小藤 幸男	福井県社会福祉協議会会長
鳴瀬 碧	仁愛大学人間生活学部健康栄養学科教授

◎：委員長、○：副委員長 任期：令和2年4月1日～令和4年3月31日

### 7. 2 審査内容

人を対象とする医学系研究課題について、個人の尊厳および人権の保護、個人情報の保護その他の倫理的観点ならびに科学的観点から審査を行う。

### 7. 3 審査対象

研究課題	A群ロタウイルスの流行状況の解明（変更：期間の延長）
実施期間	平成31年4月から令和4年3月まで
研究内容	福井県内で検出されたA群ロタウイルスについて遺伝子型別を行い、流行状況を調査する。
期待される効果	○これまで不明であった、ロタウイルスの遺伝子型別流行状況が明らかとなる。 ○ワクチン接種率の向上、重症化事例の減少、ワクチンの評価につながる。 ○当センターでの検査手技の確立、サーベイランス機能の充実につながる。
倫理的配慮事項	○医療機関からの試料提供段階で検体採取日、年齢、性別、臨床所見以外の個人情報（氏名、生年月日、住所等）は削除され、個人を特定できない符号または番号のみで取り扱うため、当センターで個人を特定することはできない。 ○臨床検体はロタウイルスの検出および解析にのみ使用し、研究対象者の遺伝情報の解析は行わない。 ○研究成果を発表する際は、個人が特定できる情報は含まれない。
審査結果	承認

研究課題	新型コロナウイルス感染症疑い検体における他の呼吸器系ウイルス検出状況について（新規）
実施期間	倫理審査終了後から令和5年3月まで
研究内容	新型コロナウイルス感染症疑い検体について、網羅的に呼吸器感染症ウイルスの検索を実施し、原因を調査する。
期待される効果	○呼吸器感染症の原因となる呼吸器ウイルスの動向や疫学が明らかになることにより、疾病への適切な診断や治療対策が確実に実施でき、県民の健康保持につながる。 ○当センターでの新たなウイルス検出・検査手技の確立、呼吸器ウイルスサーベイランス機能の充実につながる。
倫理的配慮事項	○研究による追加の侵襲および介入は伴わない。 ○検査対象の検体については、個人を特定できない符号または番号を付与し、検体採取日、年齢、性別、臨床所見以外の個人情報を削除することにより匿名化（特定の個人を識別することができないものに限る）する。 ○呼吸器ウイルスの検出および解析にのみ使用し、研究対象者の遺伝情報の解析は行わない。 ○研究成果を発表する際は、個人が特定できる情報は含まれない。
審査結果	承認

## 8. 活動記録

### 8. 1 研修会等の開催（当センターが開催した研修会や環境教室等の内容については「Ⅱ業務報告」に記載）

年月日	名 称	参加者
R2.7.3	所内研修会（内部評価委員会）	所員
R2.8.9	パネル展示 in 福井大学	福井大学主催イベント「第3回鼻の日保健大会」の参加者 約100名
R2.9.14～9.15	福井県庁インターンシップ2020（化学職）	大学生3名
R2.12.1～12.2	福井県庁インターンシップ2020（薬剤師職）	大学生1名
R3.2.17	働く人に話を聞く会	灯明寺中学校 生徒208名
R3.2.25～3.11	パネル展示 in 福井県児童科学館エンゼルランドふくい	期間中の来館者3,591名
R3.3.10	所内研究発表会	所員
R3.3.17	衛生環境研究センター研修会（環境講演会）	所員、関係機関44名

### 8. 2 学会、会議、研修等への参加

年月日	名 称	会場	人数
R2.7.14	令和2年度地方衛生研究所全国協議会臨時総会	オンライン	1
R2.8.5	第41回地方衛生研究所全国協議会東海・北陸支部総会	書面	1
R2.8.17	令和2年度全国環境研協議会 第1回理事会	書面	1
R2.8.18	令和2年度全国環境研協議会東海・近畿・北陸支部 支部総会	書面	1
R2.8.28	令和2年度第1回地方衛生研究所東海・北陸ブロック会議	書面	1
R2.8.31	令和2年度地域保健総合推進事業第1回近畿ブロック会議	書面	1
R2.9.14～10.4	第61回大気環境学会年会	書面	1
R2.10.2	令和2年度地域保健総合推進事業における専門家会議（理化学部門）	オンライン	2
R2.10.9	令和2年度地方衛生研究所全国協議会東海・北陸支部保健情報疫学学会	書面	1
R2.10.19	令和2年度第71回地方衛生研究所全国協議会総会	オンライン	1
R2.11.12	令和2年度東海・北陸ブロック地域レファレンスセンター連絡会議	書面	1
R2.11.13～27	COVID 特別シンポジウム「本邦における COVID 研究・臨床現場の最前線」	オンライン	1
R2.11.19	第47回環境保全・公害防止研究発表会	書面	2
R2.11.27	令和2年度第2回地方衛生研究所東海・北陸ブロック会議	書面	1
R2.11.30	令和2年度全国環境研協議会 第2回理事会	オンライン	1
R2.12.3～13	公益社団法人日本ペストコントロール協会主催 防除技術研修会及び感染症対策講習会	オンライン	1
R2.12.7	令和2年度公益社団法人日本水環境学会中部支部研究発表会	書面	1
R2.12.18	令和2年度環境測定分析統一精度管理 東海・近畿・北陸支部ブロック会議	オンライン	2
R2.12.22 R3.2.9～10	令和2年度希少感染症診断技術研修会	オンライン	1
R3.1.4	東海北陸ブロック環境衛生関係職員研修会	書面	1
R3.1.15	令和2年度地域保健総合推進事業第2回近畿ブロック会議	オンライン	1
R3.1.22	第66回日本水環境学会セミナー「水環境における病原性ウイルスモニタリング技術の動向」	オンライン	1

年月日	名 称	会場	人数
R3.1.28	令和2年度全国環境研協議会東海・近畿・北陸支部 有害化学物質部会	書面	1
R3.1.29	全国環境研協議会東海・近畿・北陸支部水環境部会 令和2年度第1回連絡会議	オンライン	2
R3.1.29	令和2年度茨城県霞ヶ浦環境科学センター研究成果発表会	オンライン	2
R3.2.1	令和2年度地方公共団体環境試験研究機関等所長会議	オンライン	1
R3.2.1	第49回全国環境研協議会総会	オンライン	1
R3.2.4	令和2年度地方衛生研究所全国協議会東海・北陸支部衛生化学部会	書面	1
R3.2.5	第35回全国環境研協議会東海・近畿・北陸支部研究会	書面	1
R3.2.5	名古屋市環境科学調査センター調査研究発表会	オンライン	2
R3.2.8	令和2年度埼玉県環境科学国際センター講演会	オンライン	4
R3.2.17	第40回地方環境研究所と国立環境研究所の協力に関する検討会	オンライン	1
R3.2.17	第36回全国環境研究所交流シンポジウム	オンライン	6
R3.2.17	三方五湖自然再生協議会 環境に優しい農法部会研修会	オンライン	1
R3.3.1	II型実施共同研究「光化学オキシダントおよびPM <sub>2.5</sub> 汚染の地域的・気象的要因の解明」モデルグループ会合	オンライン	3
R3.3.1	II型実施共同研究「光化学オキシダントおよびPM <sub>2.5</sub> 汚染の地域的・気象的要因の解明」成分グループ会合	オンライン	2
R3.3.5	令和2年度地方衛生研究所全国協議会東海・北陸支部微生物部会	オンライン	2
R3.3.8	「気候変動による湖沼の水環境への影響評価・適応策検討に係る手引き」説明会	オンライン	4
R3.3.9	日本水環境学会 COVID-19 タスクフォースセミナー「日本における新型コロナウイルス下水疫学調査の取り組みとその可能性」	オンライン	1
R3.3.10~12	第55回日本水環境学会年会	オンライン	2
R3.3.12	第55回日本水環境学会併設研究集会	オンライン	3
R3.3.15~19	令和2年度検査機関に対する検査能力・精度管理等の向上を目的とした講習会（地衛研基礎講習）	オンライン	2
R3.3.25	SeqStudio オンラインセミナー	オンライン	3
R3.3.25	II型実施共同研究「最終処分場ならびに不法投棄地における迅速対応調査手法の構築に関する研究」研究打合せ会議	オンライン	1
R3.3.29	II型実施共同研究「光化学オキシダントおよびPM <sub>2.5</sub> 汚染の地域的・気象的要因の解明」分析グループ会合	オンライン	1